

令和 7 年 6 月 20 日現在

機関番号：32508

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19H03927

研究課題名（和文）看護臨床アセスメントモデル構築と人工知能による深層学習に向けた学際的探索研究

研究課題名（英文）An Interdisciplinary Exploratory Study on Modeling Clinical Nursing Assessment and Applying Deep Learning with Artificial Intelligence

研究代表者

山内 豊明 (Yamauchi, Toyoaki)

放送大学・教養学部・教授

研究者番号：20301830

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、看護師の専門性と臨床判断力の向上を目的に、看護アセスメントの可視化と教育支援モデルの構築・検証を行った。「認知認識」「批判的吟味と判断」「情報の表出」を統合したアセスメントモデルを開発し、Web学習やAR（拡張現実）を用いたシミュレーション教育により実践的学習支援を実施した。さらに、得られた経験知や実践データをAI（人工知能）によるディープラーニングに接続するシステムを構築し、知識の蓄積・継承・標準化を図った。看護実践の普遍性と個別性の理解を促進し、科学的・体系的な看護教育の実現に貢献することを目指した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来分散していた看護教育の支援システムを統合し、AIを活用した経験知の蓄積・応用によって、体系的かつ持続可能な教育・実践モデルを構築する点に学術的意義がある。看護アセスメントを「命を守る」という普遍的責務に基づく一連のプロセスとして再構成することで、個別性を的確に捉える視点を提示し、教育と実践の質的向上を目指す。また、客観的データに基づく科学的アプローチやARを用いた学習支援により、時空間を超えた新たな看護教育の可能性を拓く点で、学術社会的にも大きな意義を有する。

研究成果の概要（英文）：This study aimed to enhance the professional competencies and clinical judgment skills of nurses by visualizing nursing assessment processes and developing an integrated educational support model. A comprehensive nursing assessment model was constructed by organically linking key components of the assessment process-perception and recognition, critical analysis and judgment, and information expression. Practical learning support was implemented using web-based learning systems and augmented reality (AR) simulation education. Furthermore, a system was developed to connect accumulated experiential knowledge and practice data to deep learning via artificial intelligence (AI), facilitating the accumulation, transmission, and standardization of nursing knowledge. This approach aimed to promote a deeper understanding of both the universal and individualized aspects of nursing practice and contribute to the realization of a scientific and systematic nursing education framework.

研究分野：医歯薬学

キーワード：フィジカルアセスメント 臨床推論 アセスメントモデル構築 人工知能 深層学習

1. 研究開始当初の背景

近年、医療現場における看護師の役割は、医療施設内にとどまらず、中間施設や在宅医療の場面においても主体的に患者ケアを担うようになり、着実に拡大している。看護職における専門性の向上は、医療の高度化・多様化、超急性期医療の増加、在宅移行の加速といった医療環境の変化に対応し得る人材育成の観点から、極めて重要な課題となっている。そのためには、高度な専門性を備えたフィジカルアセスメント能力と、それに基づく的確なケア実践を可能とする教育の整備が強く求められている。

看護過程において最初の段階に位置付けられるアセスメントは、身体に関する、あるいは身体を介した臨床推論・観察を含むフィジカルアセスメントとして定義される。アセスメントの過程は、「気づき」、「情報の過不足ない収集」、「判断」、「共有」といった複数のステップから構成されると考えられる。まず「気づき」の段階では、視覚や聴覚などの五感が適切に作動し、外界からの情報入力が行われることが前提である。得られた情報を認知・認識した上で、クリティカルシンキングを通じて情報の精査と整理がなされ、最終的に意味づけと共有がなされる。この一連の認知的思考プロセスを完結させることにより、はじめて「適切なアセスメントがなされた」と評価される。

本研究代表者は、これらの方法論の構築および検証に関して、先行研究の蓄積を行ってきた。従来研究成果を統合的に発展させることで、看護アセスメント統合モデルおよびその教育支援モデルを構築し、実効性および有効性の検証を進めると同時に、これらのモデルに基づく実践的経験を蓄積し、人工知能(AI)による深層学習(ディープラーニング)への展開を見据えたシステム構築の必要性が高まっている。さらに今後は、形式知と経験知をいかに相補的に融合させ、教育実践に活かしていくかを検討するための基盤整備が求められる時代に入っている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、臨床看護における経験知としてのアセスメントを可能な限り可視化し、加えて、完全な可視化が困難である部分を含む膨大な経験の有効活用を図り、両者を融合させる点にある。

学術的な特色としては、これまでの分散的かつタスク型であった教授・学習支援システムを統合し、体系的な学術モデルとして構築・検証を進める点にある。また、AIによる深層学習により経験の蓄積を行い、将来的にその知見を次世代の教育や実践に活かすためのシステム構築を目指す。そのためには、従来の個別的な研究活動の統合が不可欠であり、看護アセスメントを一連の流れとして統合的に捉えることで、その本質的価値が明らかとなる。

看護実践は生活支援を含むが、その本質には「命を守る」という普遍的責務があり、個別性の高い生活場面においても、この普遍性を基盤としたアセスメントが求められる。普遍性を明確化することは、真の個別性の把握にも資するものと考えられる。

これらの取り組みにあたり、自己申告のみならず客観的な認知・認識の状況把握に基づく科学的アプローチ、ならびにeラーニングを用いたシミュレーション教育と時間的・空間的制約を超えたヒューマンインターフェースによる教授・学習支援システムの開発が、独自性の高い取り組みとして位置付けられる。また、フィジカルアセスメントにおける認知・認識と教育的介入に関する多様な経験を収集・蓄積し、それをAIによるディープラーニングに接続することで、教育・実践の質的向上を目指す点も独創的な試みである。

本研究により、看護実践における対象の捉え方に関する具体的な視点や態度が明確化され、経験知の体系化と共有が促進されることが期待される。これにより、より普遍的で標準化された看護アセスメントの実践が、臨床現場で安定的に展開されることが見込まれる。

3. 研究の方法

本研究では、「認知・認識」「批判的吟味と判断」「情報の表出」といったアセスメントの構成ステップを深化させ、それらを有機的に統合することにより、看護アセスメントモデルの構築を目指した。さらに、カリキュラム設計、教授法、教授・学習支援システムといった教育工学的知見を統合し、多様な実践場面におけるアウトカム評価を通じてその実効性を検証した。これにより、AIによる深層学習に資するシステム構築を進めた。具体的には、以下の4つの研究課題を連携させて実施した。

研究(1): 認知・認識の検証

知覚された情報が適切に認知されているかを検証した。経験豊富な看護職は、明示的な知覚情報のみならず、周辺情報からの推測を含めて認知を行っていると推測された。このような認知は迅速な判断に資する一方、バイアスへの脆弱性を伴うため、知覚と認知のギャップを明確化し、修正可能な教育支援システムの開発を行った。

研究(2): 批判的吟味と判断・表出の強化

従来のマンパワー依存型のシナリオシミュレーションに代わり、半自動化されたヒューマンインターフェースの開発を行い、空間・時間的制約を超えるeラーニング型遠隔教育システムへの

展開を図った。

研究(3)：統合モデルの実証

初学者教育、就職初期の研修、認定・専門看護師等のアドバンス教育、さらには各種施設における継続教育において、研究(1)・(2)の成果を統合的に活用し、アウトカム評価を通じた実証研究を実施した。

研究(4)：経験知の蓄積とAI接続

フィジカルアセスメントに関する認知・教育的介入について、可能な限り多様な経験を蓄積し、AIによる深層学習に接続するためのシステム構築を行った。

4．研究成果

並行して進めていた聴診能力向上のためのシステム開発研究において、聴診音情報の収集に関して、周辺雑音やホワイトノイズを著しく減少させ、高いS/N比(Signal-to-Noise Ratio)を実現する技術を確立した。これにより、これまで困難であった呼吸音判別の自動化に向けたロジックの開発と実用化が進展した。

この成果を基に、研究(1)では自動判別ロジックと人間の聴診判断の一致・乖離に関する特徴分析を行い、認知バイアスの解明を進めた。さらに研究(2)では、当該ロジックをベンチマークとしたセミオートマチックなフィードバック機能を備えたWeb学習システムを開発した。

研究(1)および(2)の成果をもとに、Web上でのAR(拡張現実)技術を活用したフィジカルアセスメントトレーニングシステムを試作し、研究(3)においてその追加的導入効果を検証した。加えて研究(4)として、これらの成果データを一元的に蓄積・管理するシステムを構築し、そのデータをAIによるディープラーニングへと接続するためのシステム開発にも着手した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計37件（うち査読付論文 21件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 Yoshida Fumiko, Conti Gary J., Yamauchi Toyoaki, Kawanishi Misa	4. 巻 13
2. 論文標題 A Teaching Styles Typology of Practicing Teachers	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Education and Learning	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5539/jel.v13n1p1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 山内豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 専門家からの推薦状 進化する常識	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 JP STATE	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 山内豊明	4. 巻 64
2. 論文標題 フィジカルアセスメントの各論をどのように授業で展開するか 基本の考えと活用	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 看護教育	6. 最初と最後の頁 680-687
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 山内豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 ニューノーマルにおける技術教育（シミュレーション教育を中心に）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集	6. 最初と最後の頁 36-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 看護とは何か～医学との二項対立を超えて～	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 第27回日本看護管理学会学術集会抄録集	6. 最初と最後の頁 122-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平岩竜之介、山内豊明	4. 巻 36
2. 論文標題 救命救急士の聴診スキルの現状把握と呼吸音聴診シミュレータを使用した研修効果の検証	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本臨床救急医療学会誌	6. 最初と最後の頁 360-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida Fumiko, Conti Gary J., Yamauchi Toyooki, Kawanishi Misa	4. 巻 12
2. 論文標題 Learner-Centeredness vs. Teacher-Centeredness: How Are They Different?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Education and Learning	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jel.v12n5p1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nahoko Nakagawa, Toyooki Yamauchi	4. 巻 85
2. 論文標題 Usefulness of an online learning program for new nursing faculty members.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nagoya Journal of Medical Science	6. 最初と最後の頁 319-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.85.2.319	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川名帆子、山内豊明、小西真人	4. 巻 2
2. 論文標題 新任看護系大学教員のためのオンラインコミュニティの学外支援としての有用性の検討	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 福山平成大学看護学部紀要	6. 最初と最後の頁 11-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 医療専門職に必要なヒトのからだの意義とその捉え方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会講演抄録集	6. 最初と最後の頁 107-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shintaro Higashiyama, Koji Tamakoshi, Toyoaki Yamauchi	4. 巻 1
2. 論文標題 Effectiveness of a new interactive web teaching material for improving lung auscultation skills: Randomized controlled trial for clinical nurses. nurses	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 26th East Asian Forum of Nursing Scholars	6. 最初と最後の頁 1-1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 相馬孝博	4. 巻 112
2. 論文標題 診断に対する医療安全的アプローチ - Diagnostic Errorについて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本内科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1979-1990
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 74
2. 論文標題 保健室で役立つフィジカルアセスメント	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 健康教室	6. 最初と最後の頁 41-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shintaro Higashiyama, Koji Tamakoshi and Toyoaki Yamauchi	4. 巻 84
2. 論文標題 Effectiveness of a new interactive web teaching material for improving lung auscultation skills: randomized controlled trial for clinical nurses	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nagoya Journal of Medical Science	6. 最初と最後の頁 526-538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.84.3.526	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 136
2. 論文標題 安心して暮らすための協働医療実践の創造を目指して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新潟医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 253-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 136
2. 論文標題 第2回新潟県における医療の質確保と向上のための人材育成シンポジウムー実践的な看護師と総合診療医の育成・協働に向けてー	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新潟医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 241-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 9. 山内豊明	4. 巻 46008
2. 論文標題 医療者のアタマの中で進めていること～臨床推論・アセスメント～多彩で柔軟な思考答え導く	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中国新聞	6. 最初と最後の頁 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木 (佐伯) 街子、益田美津美、浅田義和、上原明子、山内豊明、村上礼子	4. 巻 24
2. 論文標題 看護技術の完全習得学習を目的とした遠隔学習プログラムに関するデザイン研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 43-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 立石 愛美、山内 豊明	4. 巻 3
2. 論文標題 へき地診療所看護職の就業状況実態調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 22-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34403/jsnam.3.0_22	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内山エミ、山内豊明	4. 巻 12
2. 論文標題 術前訪問における患者とのラポール形成を導く要素-文献による手術室看護師と病棟看護師の比較検討-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ヒューマンケア研究学会誌	6. 最初と最後の頁 9-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 109
2. 論文標題 呼吸音聴診	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 71-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 72
2. 論文標題 傷病で保健室を訪れた子どものバイタルサインの的確な捉え方	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 健康教室	6. 最初と最後の頁 62-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 24
2. 論文標題 呼吸音聴診のコツ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 救急救命	6. 最初と最後の頁 12-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goto Hisae, Yamauchi Toyooki	4. 巻 18
2. 論文標題 Nurse perceptions of physical assessment skills for detecting acute progression of heart failure	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japan Journal of Nursing Science	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jjns.12368	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tateishi Manami、Nakanishi Keisuke、Takehara Kimie、Honda Ikumi、Yamauchi Toyoaki	4. 巻 82
2. 論文標題 Nursing activities at clinics in rural areas in Japan : gaps between recognition of importance and implementation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nagoya Journal of Medical Science	6. 最初と最後の頁 251-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.82.2.251	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柳井千穂、石橋建一、三浦典子、安達禎之、大野尚仁、山内豊明	4. 巻 99
2. 論文標題 CAWS血管炎の病態に対する食物繊維の影響	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 応用薬理	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 61
2. 論文標題 看護師の臨床判断を支える基礎 フィジカルアセスメント教育を例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 看護教育	6. 最初と最後の頁 794-801
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 2
2. 論文標題 知の可視化と継承	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 109
2. 論文標題 呼吸音聴診	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 71-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福山 美季、三笥 里香	4. 巻 30
2. 論文標題 心疾患の危険因子と予防行動に関する看護学生の知識・態度についての研究の動向	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本看護学教育学会誌	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51035/jane.30.3_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mihoko Usui, Toyoaki Yamauchi	4. 巻 81
2. 論文標題 Guiding patients to appropriate care: developing Japanese outpatient triage nurse competencies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nagoya Journal of Medical Science	6. 最初と最後の頁 579-612
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nagjms.81.4.597	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤 妃佐絵、山内 豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 心不全の急性増悪発見に際しての看護師のフィジカルアセスメント項目についての臨床看護師の認識	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 35-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34403/jsnam.1.0_35	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川名帆子、山内豊明、小西真人	4. 巻 4
2. 論文標題 新任看護系大学教員に必要な教育実践能力に関する質的研究-ベテラン教員と新任看護系大学教員の意見に焦点をあてて-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 岐阜聖徳学園大学看護学研究	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山内豊明	4. 巻 1
2. 論文標題 フィジカルアセスメント・臨床推論の進め方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 高教研保健2018	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内野 成美、三笥 里香	4. 巻 1
2. 論文標題 日本の集中治療室における睡眠に関連する せん妄の予防とケアの検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34403/jsnam.1.0_42	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 里道 稜、三笥 里香	4. 巻 1
2. 論文標題 日本の集中治療室における面会制限に関する検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34403/jsnam.1.0_48	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村尾 美紀子、三笥 里香	4. 巻 1
2. 論文標題 日本における看護師の勤務形態と疲労に関する検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本臨床看護マネジメント学会誌	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34403/jsnam.1.0_54	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 Fumiko Yoshida, Gary J Conti, Toyooki Yamauchi
2. 発表標題 Difference Between Teacher-Centered and Learner-Centered Instructors
3. 学会等名 第42回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nahoko Nakagawa, Toyooki Yamauchi, Masato Konishi
2. 発表標題 Usefulness of an Online Learning Program for New Nursing Faculty Members
3. 学会等名 The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山内豊明
2. 発表標題 知の可視化と継承
3. 学会等名 日本臨床看護マネジメント学会第11回学術研究大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 立石愛美、中西啓介、竹原君江、本田育美、山内豊明
2. 発表標題 へき地診療所における看護師の活動内容の実態と重要性の認識
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石井千晶、山内豊明
2. 発表標題 ALS療養者の時期別に焦点をあてたコミュニケーションにおける実態調
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 臼井美帆子、山内豊明
2. 発表標題 二次救急体制を有する病院における受診科決定支援を行う看護師に必要なコンピテンシー
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川名帆子、小西真人、山内豊明
2. 発表標題 新任看護系大学教員に必要な教育実践能力に関する質的研究-ベテラン教員と新任教員の意見に焦点をあてて
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤妃佐絵、山内豊明
2. 発表標題 心不全の急性増悪を判断する際のフィジカルアセスメントに関する看護師の認識及びその認識と経験との関連
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 林由利江、山内豊明、中川名帆子
2. 発表標題 医療事故防止のためのマニュアル整備に関する要因～病院規模別から見た認識の検討～
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田文子、松田安弘、荘島宏二郎、網野寛子、山内豊明、柳澤佳代、池西静江、山田百合子、石束佳子、浦西由美、岩崎孝昭
2. 発表標題 看護専門学校教務責任者のカリキュラム開発力に関する調査研究
3. 学会等名 第31回日本看護学校協議会学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山内豊明
2. 発表標題 看護基礎教育における専門英語教育の意義
3. 学会等名 第31回日本看護学校協議会学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山内豊明
2. 発表標題 臨床推論・フィジカルアセスメントの考え方・進め方と教育のあり方
3. 学会等名 第31回日本看護学校協議会学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊佳奈、山内豊明
2. 発表標題 看護学実習カンファレンスにおける研究の動向と課題-効果的な指導方法に焦点をあてた過去15年間の文献検討-
3. 学会等名 日本看護学教育学会第29回学術集会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 山内豊明	4. 発行年 2022年
2. 出版社 一般社団法人放送大学教育振興会	5. 総ページ数 282
3. 書名 看護学概説	

1. 著者名 リン・S.ピックリー、ピーター・G.シラギ、リチャードM.ホフマン/著、有岡宏子・井部俊子・山内豊明/ 日本語版監修	4. 発行年 2022年
2. 出版社 メディカルサイエンスインターナショナル	5. 総ページ数 1225
3. 書名 ベイツ診察法第3版 Bates' Guide to Physical Examination and History Taking 13th Edition	

1. 著者名 山内豊明ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 福井県立大学	5. 総ページ数 148
3. 書名 健康生活科学	

1. 著者名 クラウディア・フランドリ、山内豊明、山崎瑞花	4. 発行年 2021年
2. 出版社 西村書店	5. 総ページ数 186
3. 書名 まんがでわかるみんなの遺伝子の謎	

1. 著者名 山内 豊明、広瀬 純子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 350
3. 書名 訪問看護アセスメント・ハンドブック	

1. 著者名 筒井孝子、山内豊明	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本看護協会出版会	5. 総ページ数 332
3. 書名 看護必要度 第8版	

1. 著者名 山内豊明ら	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディック メディア	5. 総ページ数 384
3. 書名 看護がみえる	

1. 著者名 山内豊明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 照林社	5. 総ページ数 144
3. 書名 まるごと図解 心電図の見かた	

1. 著者名 山内豊明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 放送大学	5. 総ページ数 116
3. 書名 フィジカルアセスメント特論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	三笥 里香 (Mitoma Rika) (10305849)	熊本大学・大学院生命科学研究部(保)・教授 (17401)	
研究分担者	吉田 文子 (Yoshida Fumiko) (80509430)	佐久大学・看護学部・教授 (33606)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	相馬 孝博 (Soma Takahiro) (90262435)	千葉大学・医学部附属病院・特任教授 (12501)	
研究分担者	小川 賀代 (Ogawa kayo) (20318794)	日本女子大学・理学部・教授 (32670)	
研究分担者	中神 克之 (Nakagami Katsuyuki) (20551237)	名古屋女子大学・健康科学部・教授 (33915)	
研究分担者	八木 街子（佐伯街子） (Yagi Machiko) (60610756)	自治医科大学・看護学部・准教授 (32202)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関